

別表 1

## 教育課程

	教育内容	科目	単位数	時間数	1 年	2 年	3 年	
基礎分野	科学的思考の基盤	生物学	1	15	1(15)			
		論文作成の基礎	1	30	1(30)			
	人間と生活・社会 の理解	研究入門	1	30			1(30)	
		家族社会学	1	30	1(30)			
		人間関係論	1	30	1(30)			
		発達心理学	1	30	1(30)			
		健康スポーツ学	1	45	1(45)			
		臨床英語	1	30		1(30)		
小 計			8	240	6(180)	1(30)	1(30)	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1	30	1(30)			
		生理学	1	30	1(30)			
	疾病の成り立ちと 回復の促進	生化学	1	30	1(30)			
		病理学	1	30	1(30)			
		微生物学	1	30	1(30)			
		病態と治療Ⅰ（呼吸器・循環器・造血器）	1	30	1(30)			
		病態と治療Ⅱ（脳神経系・運動器・感覚器）	1	30	1(30)			
		病態と治療Ⅲ（消化器・泌尿器・内分泌系）	1	30	1(30)			
		病態と治療Ⅳ（女性生殖器）	1	15	1(15)			
		薬理学	1	30	1(30)			
	健康支援と 社会保障制度	生命倫理	1	15	1(15)			
		公衆衛生	1	15		1(15)		
		社会福祉	1	30		1(30)		
		関係法規	1	15		1(15)		
小 計			14	360	11(300)	3(60)	0(0)	
専門分野 ※実務経験者による 教科目	基礎看護学	看護学概論	1	30	1(30)			
		生活機能のアセスメント	1	30	1(30)			
		生活機能を支える看護技術	1	30	1(30)			
		看護観演習Ⅰ（看護の概念）	1	30		1(30)		
		看護を導く思考過程	1	30		1(30)		
		看護研究の基礎	1	30			1(30)	
		暮らしを支える看護	1	30	1(30)			
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論	1	30		1(30)		
		地域・在宅看護援助論	1	30		1(30)		
		地域・在宅看護援助技術	1	30		1(30)		
		暮らしを彩る看護	1	15		1(15)		
		成人看護学・老年看護学	1	30	1(30)			
		健康保持・増進する看護	1	15	1(15)			
		危機的状況からの回避	1	30		1(30)		
	小児看護学	機能障害に応じた看護Ⅰ	1	30		1(30)		
		機能障害に応じた看護Ⅱ	1	30		1(30)		
		回復を促進するかわり方	1	30		1(30)		
		小児看護概論	1	30	1(30)			
		小児看護援助論	1	30		1(30)		
		小児看護援助技術	1	30		1(30)		
		母性看護学	1	30	1(30)			
	精神看護学	母性看護援助論	1	30		1(30)		
		母性看護援助技術	1	30		1(30)		
		精神看護概論	1	30	1(30)			
		精神看護援助論	1	30		1(30)		
	看護の統合と実践	精神看護援助技術	1	30		1(30)		
		国際社会と災害看護	1	30		1(30)		
		看護の統合	1	30			1(30)	
		統合技術演習	1	30			1(30)	
		看護観演習Ⅱ（自己の看護観）	1	30			1(30)	
	小 計			30	870	9(255)	17(495)	4(120)
	臨地実習	基礎看護学実習	2	90			2(90)	
地域・在宅看護論実習		2	90				2(90)	
成人・老年看護学実習Ⅰ		2	90				2(90)	
成人・老年看護学実習Ⅱ		2	90				2(90)	
小児看護学実習		2	90				2(90)	
母性看護学実習		2	90				2(90)	
精神看護学実習		2	90		2(90)			
看護の統合と実践実習		2	90				2(90)	
小 計			16	720	0(0)	4(180)	12(540)	
合 計			68	2190	26(735)	25(765)	17(690)	
その他	課外活動			255	(65)	(64)	(126)	
総時間数				2445	(800)	(829)	(816)	